

(公表用)

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成28年度採択)

事後評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
28-2	蓄積車両軌跡データの効率的活用のための階層型データベースの構築	神戸大学 教授 井料 隆雅	A
<p><研究の概要> ※成果報告レポートより引用</p> <p>近年蓄積が始まっている車両軌跡データの潜在価値は大きいですが、この種のデータは巨大かつ品質が不安定になりがちであり、ナイーブな方法で扱くと早晩破綻を見る。本研究では、品質を管理し集計単位で階層化された車両軌跡データベースを構築し、その活用例を示す。</p> <p><事後評価結果></p> <p>大量に蓄積された車両プローブデータの活用にあたり必須となる、データの品質検証、集計操作及びデータベース構築に関する研究を実施しており、学術的にも技術的にもレベルが高い。ETC2.0データの有用性と限界を示したことから、道路政策実務への技術的貢献も高い。このことから、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">既に実用化が始まっているETC2.0などのプローブデータについて、信頼性と修正方法を学術的に検証し、今後の普及への道を開いた意義は極めて大きい。研究成果の活用が期待でき、発展性も望むことができる。ETC2.0のデータ分析を効率化するデータベースが構築できている。階層型データベースの実装と活用事例の蓄積を進めることで、より効果的なデータベースの構築が期待される。ETC2.0プローブデータの品質に関する検討結果は、ETCシステムの更新に際して有用な情報を与えるものと考えられる。			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第37回新道路技術会議において審議したものである。